

メタン発酵によるバイオマス活用事業実現可能性調査業務委託仕様書

1 業務名

メタン発酵によるバイオマス活用事業実現可能性調査業務

2 目的

大熊町でバイオマスを活用したメタン発酵事業を行うにあたり、「別添資料 大熊町栽培施設等に必要となるエネルギー量等収支」に示される施設に対して、エネルギー等供給事業として継続するために必要な原料の量、種類、調達先、調達方法、調達価格、及びそれに必要な設備の規模、整備費用等について調査し、事業化可能性を検討するためのコンソーシアムにおける基礎資料とする。

3 業務委託期間

委託契約締結の日から平成30年3月20日まで

4 業務内容

(1) 大熊町でバイオマスを活用したメタン発酵事業を行うにあたり、大熊町内より調達可能な原料の検討

大熊町の気候、地形等の自然条件、及び現状の避難指示区域、今後の復興計画等を総合的に鑑み、バイオマスを活用したメタン発酵事業を継続的に行うために適したバイオマス原料について検討する。

(2) バイオマスを活用したメタン発酵事業を継続するにあたり、必要な量の原料を調達する方法の検討

上記(1)において検討した原料の調達方法およびコストの検討を行う。原料の生産が必要となる場合は、具体的な生産計画、必要な生産面積、設備投資額、人件費等を併せて検討する。

(3) バイオマスを活用したメタン発酵事業を行う施設等の整備費用、及びこれらの施設の運営、維持、管理に掛かる費用の検討

- ① 上記(1)～(2)で検討した内容でバイオマスを活用したメタン発酵施設の整備に掛かる費用、及びこれらの施設で得られたエネルギー等を利用施設まで供給するための方法、整備費用を検討する。
- ② これらの施設を運営し、維持・管理するのに必要なコストの試算を行う。また、コストダウンする方法についても併せて検討する。

(4) バイオマスを活用したメタン発酵事業に使える補助金の検討

上記(1)～(3)で検討した内容が補助対象となる国等の補助金について調査し、

補助率について検討する。対象となる補助金が複数ある場合は、それぞれ対象となるための条件を比較し、どの補助金が最も使いやすいか検討する。

(5) 大熊町におけるバイオマスを活用したメタン発酵事業の事業化可能性の分析

上記(1)～(4)までの結果を踏まえ、大熊町でバイオマスを活用したメタン発酵事業を行った場合の物質収支、エネルギー収支、並びにコストバランスを試算し、事業化の可能性及び課題等についてまとめる。

5 提出書類

委託事業者は、メタン発酵によるバイオマス活用事業実現可能性調査業務公募型プロポーザル実施要領に定めるもののほか、次の各号に掲げる書類を大熊町の指定する日までに提出しなければならない。様式についてはすべて任意とし、サイズはA4版とする。

(1) 着手届 契約締結後7日以内に提出

※ 着手届には次の書類を添付すること。

- ・業務体制表
- ・主任技術者の経歴等

(2) 完了届

※ 成果報告書の検査終了後に提出すること。

(3) その他、業務の確認のために大熊町が必要と認める書類

6 成果品の提出

委託事業者は、平成30年3月20日(火)までに次の各号に掲げる成果品を大熊町に提出しなければならない。

(1) 委託業務成果報告書 2部

(2) 上記データを記録した電子媒体 1部

7 その他

本仕様書に記載がない事項については、大熊町と別途協議をして決定する。

